

学校だより  
平成27年  
6月23日号

## はるにれ

海老名市立  
有馬小学校  
校長 宮原謙二

### 紫陽花の花の色

梅雨に入り雨模様の日が続いていますが、庭先の紫陽花が赤や青の綺麗な花を咲かせて私たちの目を楽しませてくれます。8日(月)の朝会で、紫陽花の花の色について話をしました。

同じ株を植えても、赤や青の花をつける紫陽花。紫陽花の花の色は何によって決まるのでしょうか。

実は、紫陽花にあるアントシアニンという色素の成分が、アルミニウムに反応して青色になり、アルミニウムがないと赤色になるそうです。アルミニウムは根から吸収されますが、根は広い範囲に広がっているため、同じ株の花でも青色や赤色の花が混ざって咲く場合もあります。普段何気なく見ている景色も、興味を持って調べてみると意外な発見があるものです。

梅雨の6月～7月の時期、外遊びができないのでストレスもたまりやすくなりますが、集中して勉強に取り組む良い機会でもあります。鬱陶しい季節ではありますが、発想を転換してしっかりと勉強に取り組ませていきたいと思えます。

ご家庭でも話題にさせていただき、この時期にしっかりと勉強に取り組むことで、その後待っている楽しい夏休みを迎えることができたらと思います。



「青やピンクに染まった綺麗な紫陽花の花」

### 連携を深める(小中連携授業参観・講演会)



「園工の授業では山本先生のわかりやすい助言が嬉しい」

6月2日(火)に小中連携授業参観・講演会が、有馬中学校で行われました。有馬小、社家小、門沢橋小の3校の先生が有馬中学校の授業を参観しました。前半の授業参観では、

どの学年の生徒もしっかりと授業に臨んでいる姿を見ることができて安心しました。

後半は、早稲田大学教授小林宏己先生の「保幼小中の連携・一貫教育～確かな学びと豊かな育ちを求めて～」の講演を聞きました。「小中一貫教育の一番大切な目的は授業改善です。」という言葉が印象的でした。

6月27日(土)には、門小体育館で10時から、天笠茂先生(千葉大教授)の小中一貫教育の講演会が開催されます。ぜひご参加ください。

### 自然の中で貴重な体験(野外教育活動)

待ちに待った5年野外教育活動が、11日(木)～12日(金)に実施されました。

梅雨に入り雨が心配されましたが、初日は汗をかくほどよい天気でした。まず「寒沢の源流」に向かって沢登りをしました。大きな岩を乗り越え一本橋を渡りながら、綺麗な湧き水の湧く源流に到着しました。富士山の雪解け水なので、とても冷たくて美味しい水が子どもたちの喉を潤してくれました。

2日目は、いよいよ「富士さんぽ」です。霧が立ちこめ雨も降っていましたが、おにぎりを食べる頃には、晴れ間も見えて、砂走りもみんな楽しく活動できました。「どんな天気もいい天気！」考え次第で辛い状況も克服できることをスタッフの方から教わりました。子ども一人ひとりの心に残る、貴重な体験をすることができました。



# 行事予定

6月 23日(火)芸術鑑賞会「わんぱく狂言」  
 24日(水)授業参観・懇談会(4. 5. 6年ひまわり級)  
 25日(木)3年喫煙防止教室  
 26日(金)授業参観・懇談会(1. 2. 3年)

7月 2日(木)登校指導  
 8日(水)家庭教育学級  
 9日(木)6年学年発表  
 10日(金)ありまっ子応援団運営会議  
 14日(火)5年ふくし教室  
 17日(金)1学期終業式

21日(火)～23日(木)ありまっ子スクール



「ひまわりさんの育てているミニトマトとなす」

## ありまの歴史9



「厚木駅(昭和2年)」

### 昭和の教育

—百周年記念誌より—

昭和初期の頃の子どもたちの様子をお伝えします。雑記帳もあり、ノートや鉛筆も使いましたが、石板にろう石を使って書き取りをすることもありました。

お弁当は麦ご飯に梅干しが多く、なかにはパンにジャムをつけて食べていた人もいました。

月謝は、50銭から60銭くらいで、払えない人もいたので、先生が集めるのにととても苦労されたようです。そういう時代なので、尋常科(現1～4年)を終えると高等科(現5年～中2)へはいかない人がかなりいましたが、中学や農学校へ行く人も、クラスで6

～7人いました。

遠足は河原やなんじゃもんじゃ、寒川神社へ行きました。高等科1年の時には東京へ、2年の時は不景気のせいで江ノ島でした。その頃のお弁当は、いろいろと制限があり厳しいものでした。水筒は持たず、お小遣いは5銭(現在の90円相当)以内と決まっていた。

## 校庭の丸太を無料で修理



「ずいぶん痛んできたなあ!」

2年前にハタベ造園さんが寄贈してくださった丸太の遊具が、ずいぶんささくれていることをみんなで心配していました。

前教頭の石井先生がお願いしたところ、ハタベ造園さんが快く修理を引き受けてくださり、見違えるほど立派な丸太の遊具に早変わり!

4つあったうちの、痛みの激しかった両側の2つは撤去して、中の2つを鉋(かんな)がけして綺麗な色を塗ってもらいました。

「これで当分の間は、子どもたちの良い遊び場になるでしょう。」

と、嬉しそうに微笑みながら無料で修理をしてくださいました。体育や休み時間に子どもたちの体力づくりの道具として大切に使っていきたいと思います。

